

ほっ こころの と通信



友達とより仲良くなるには・・・



～待ちながら、接してみよう～

新学期になりましたね。新しいクラスはいかがですか？

新しいクラスの人と話してみた人もいでしょうし、まだ、話すのが難しいなと思っている人もいるかもしれませんね。趣味があったり、気が合ったりするともっと話したいと思うかもしれないですし、考え方が違うと、「あれ、そんな見方もあるんだ」と新鮮に思うことや、「私とは違うな」と思うことがあるかもしれません。でも、もっと話していると、案外似た所があるかもしれないですし、答えは違ってても、理由が似ていることがあるかもしれません。相手のいろいろな面を見ないとわからないこともたくさんあるかもしれませんね。

ただ、相手が急に態度が変わった時、私たちは戸惑いますね。何か気になることをしたり、言ったりしたのかな？と思ったり、どうしたらいいのかと悩んだりすることもあると思います。

梨木香歩さんの「ぼくは、ぼくたちはどう生きるか」(理論社出版)の中に、主人公のぼく、と親友のユージンのお話が出てきます。

ぼくとユージンは仲良かったのですが、ユージンは突然、引きこもってあまり話さなくなります。それで、ぼくは、ユージンに何をしたいかわからなくなります。何か(悪いことを)したんじゃないかと、不安に思ったり、何で？と腹を立てたり、誤解があるなら解かなきゃと思ったり・・・。

ずいぶん時が経ってから、ぼくはユージンに会いに行きます。そして、ユージンから、話せなかった複雑な気持ちがあったことを聴きます。ユージンにはユージンの言えない理由があったことを、お互い思っていたこと、考えていたことを話し合っ、ユージンのことがわかって、ぼくの気持ちも伝えて、二人はもっと仲良くなります。

このお話のように、私たちも、相手が今までのように話してくれなくなったり、急に距離ができたんじゃないかな、と思ったりすると、どうしていいかわからなくなりますね。そして、なにか悪いことを言ったかな？気に障(さわ)ることをしたんじゃないかな？と気になることがあると思います。それは、自分のせいかもしれないですし、ユージンのように、ユージンの方に理由がある場合もあります。

その時、相手に「何かしたかな？」と聴くのは勇気が要ります。でも、聴いてみるのも大事なことだと思います。聴いてみると、わかることで、前よりもっと仲良くなることもあると思います。ただ、ユージンのように、自分でもわからなかったり、言葉にならなかつたりすることがあると、一生懸命聴いてもわからないことがあるかもしれませんね。

その時は、モヤモヤするかもしれませんが、聴いてもなかなかわからないようでしたら、「話せる時が来たら、話してね」と待ちながら、変わらず接している内に、お互いのことがもっと分かり合える時がくると思います。

いろいろ試してみたけど、うまくいかないな、どうしていいかわからないな、と思った時は、カウンセリングルームに来てくださいね。

★カウンセリングルームへの申込方法(くわしくはパンフレットを見てください)

カウンセリングルーム1(科学館1階)の掲示板にある「面接予約表」を見て来たい日時に○印をつけてください。

担任の先生を通して、申し込んでもらうことも可能です。

*相談場所 カウンセリングルーム1(科学館1階) カウンセリングルーム2・3(記念体育館1階)

★お電話でも受け付けています。

学校の代表番号の0798-47-6436に電話して、「カウンセリングルームに」とつないでもらってください。

他の相談が入ったりしてすぐつながらない時は、連絡先を伝えて頂いたらこちらからお電話しますね。

